

はじめに

「西日本豪雨災害」では、7月5日から8日にかけて降り続いた大雨により、大きな被害が発生しました。

愛媛県では、この大雨によって、土砂災害や河川の氾濫などの災害が起こり、33名(災害関連死の方も含まれます。)の尊い命が奪われました。

土砂が流れこんできたり、水に浸かったりしたことで、多くの方が家に住めなくなったり、断水生活をおくりました。

また、今後30年以内に70～80%の確率で、南海トラフ沖で地震が起こるとされており、その際には、大きな地震や津波などの災害の発生が心配されます。

そのため、愛媛県では、自然災害や南海トラフ地震などに備えるため、障がいのある方やそのご家族向けに、「障がい者災害対応のてびき」を作成しました。

この「てびき」は、災害時において、障がいのある方々が、大切な命を守るための日ごろの備えや避難所での生活などをまとめています。

平成24年度に作成した「愛媛県災害時障害者支援の手引き」や西日本豪雨災害の検証報告書などを参考に作成しています。

障がいのある方は、ご自身に必要な災害への備えを整えましょう。

市町や関係団体、障がい者を支援する方におかれましては、障がいのある方々一人ひとりに必要な支援のネットワークづくりにお役立てください。

障がいのない方は、障がいのある方の特性を理解し、自分ができることを考えてみましょう。